

NACCSプログラム変更要望一覧（2021年度分）（実施案件）

※グレーにハイライトは重複案件

No.	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R02-041	通関	対象コードなし	出力電文のPDF保管	出力電文は、自動保存ではテキスト形式、印刷ではプリンタへの紙印刷しかNACCS上での機能がなく、他のPC端末で電子データで見るときには印刷された紙をPDFにスキャンして返還するか、印刷画面からPDF変換ツールを使用する必要がある	Net NACCSを多く使用している中で、NACCS受信後に受信通知をPDFでNACCSからそのままPCに保存できるようにしてほしい。印刷設定、及び自動保存の形式にPDFを追加してほしい	Intractive方式からNetNACCSの使用に切り替わる中、メールや社内保管を行う場合、許可書などは基本PDFで保管している（多くの会社がそうではないかと思いますが）作業効率を上げるためにもPDFでの保管が必要	オプション設定画面に「PDFファイル自動保存」タブを新規追加し、出力情報コード単位・電文種別単位にPDFファイル保存有無を設定可能とする。また、オプション設定で指定したファイル名を付与し保存可能とする。
R02-102	貨物	CDB CDB01 CDD	データ保持期間の延長	搬入予定日から3日間	搬入予定日から7日間、尚且つ長期休日の際の延長	長期休日中に当初予定していた日から3日を超える場合、搬入伝票番号を用いた搬入確認登録ができなくなる為。早期搬入確認の実施可能になり、ひいては迅速な輸出申告が期待できる。	航空輸出貨物情報の保存期間を日祝除く3日から日祝除く7日に延長する。
R02-103	貨物	DCC, DCA	内貨運送申請を不閉港も利用できるようにしてほしい	HYSで申請し、書類を本船託送、到着後本船から書類を受け取り船長からサインを取り付けたのち、税関で到着確認を受ける。発送された通関業者に返却し、税関へ提出する	現在は開港しか利用できないが、不閉港でも入力できるようにしていただきたい	本船への移動の省略。ペーパーレス。不閉港から開港、開港から不閉港でもNACCS使用ができないので、開港でもNACCSが使用できず、本船へ出向く必要がある。また、税関へ到着確認後荷役開始しているため、接岸後、荷役開始までの時間を短縮できる。	発送地港コード、到着地港コードが不閉港または税関空港以外の場合でも実施可能とする。
R02-115	通関	EDC	データ保持期間の延長	EDC業務にて搬入時申告の旨の登録にて貨物情報が新規登録された日から3日間	EDC業務にて搬入時申告の旨の登録にて貨物情報が新規登録された日から7日間、尚且つ長期休日の際の延長	長期休日中に当初申告予定していた日から3日を超える場合、貨物情報が削除されてしまい再度EDC業務を行わなければならない為。申告内容に変更のない書類を通関士が再度審査し直す必要がなくなり、業務の効率化及び迅速な輸出申告が可能になる。	航空輸出貨物情報の保存期間を日祝除く3日から日祝除く7日に延長する。
R02-225	貨物	IDC	航空のIS併せ運送承認時に海上同様に併せ運送通知情報を蔵入先に出力するようにしてほしい	併せ運送通知情報は海上のIS承認時に出力されるが、航空のIS承認時には出力されない	航空のIS併せ運送貨物がBASでシステム搬入できるようになったが、併せ運送通知情報がないので内貨か外貨を取り扱っている保税蔵置場では誤って内貨として貨物を受け入れる事故があったため	事前に貨物の情報が確認でき、保税管理の事故もなくなる	航空についても、蔵入承認併せ運送に係る通知情報を蔵入先保税蔵置場に出力する。
R02-232	その他	PID	PIDの入港日の入力可能日付システム日-6日を積荷目録DBの14日に変更してほしい	積荷目録DBの保存期間日祝除く14日になったが、PIDの入港日の入力可能日付システム日-6日	積荷目録DBの保存期間日祝除く14日になったが、PIDの入港日の入力可能日付システム日-6日ままなので、連休明けに処理する場合、積荷目録DBが存在するにも関わらずPIDで入港日を訂正できない。PIDの入港日の入力可能日付システム日-6日を変更してほしい	PIDできない場合、入港日の訂正はPKI後SAIで一件づつ訂正する必要があり、リカバリーが面倒なのでプログラム変更をお願いしたい。	PID業務にて「入港日」として14日前（貨物情報保持期間）までの過去日の入力を可能とする。
R02-233	通関	IDA	再輸入免税貨物について、NACCSの特例輸入申告ができない。	再輸入免税貨物について、引取申告時に「貿易形態符号」欄をブランク（貿易統計除外のため）として申告すると、特例申告時にエラーとなってしまう。このため、マニュアル申告のうえ、納付書を税関にて出力してもらっている。	再輸入免税貨物について、一般のIC輸入申告の場合は「貿易形態符号」欄を未入力としているが、引取申告時に同欄を未入力にすると、その後の特例申告でエラーとなってしまう。「貿易形態符号」欄については、貿易統計上除外貨物であることから、誤った入力をするのもできない。	再輸入免税貨物に関し、システムで特例申告を行いたい。	特例申告の場合、「輸入申告変更事項登録（IDA01）」業務の「貿易形態符号」欄の入力区分を入力無視（-）から任意入力（0）に変更し入力可能とする。

No.	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R02-235	通関	EDA	EDA業務において、共通部の貨物重量と各欄の貨物重量の合計との差に係るワーニングを出力するようにしてほしい。	EDA業務においては、当該ワーニングは出力されないが、IDAにおいては、共通部と繰返部を比較して差が許容範囲を超えている場合、注意喚起メッセージ(W0023)を出力する。共通部と繰返部の差がない場合、共通部と繰返部の差が許容範囲以内の場合は、注意喚起メッセージは出力されない。なお、複数欄の申告の場合は、「共通部」と「繰返部(全欄分の重量の合計)」の比較となる。 ※ワーニングの出力条件は、全欄に重量及び重量単位の入力がある場合のみ。	IDA同様、EDAにおいても共通部の貨物重量と各欄の貨物重量の合計との差に係るワーニングを出力するようにしてほしい。	ワーニングを出力することによる、入力間違い防止	EDA業務においてもIDA業務と同様に、共通部の貨物重量と各欄の貨物重量合計に一定範囲を超える差があった場合には、ワーニングを出力する。
R02-244	その他		NACCSパッケージソフトのオプション設定情報をエクスポート/インポートを可能とする	PSの端末入れ替えの際に、オプション設定情報(論理端末名や、電文の自動印刷の設定等)は破棄される。	オプション設定情報をエクスポート/インポートを可能とする	Win8が使用不可になるなどの際に、端末入れ替えが大量に発生する。その際の利用者負担、センターの問い合わせ対応負担が軽減される。 (7次更改時には、後継のPSでもエクスポートファイルを使用できるようにすることも想定)	オプション設定エクスポートダイアログにて対象を選択し出力し、エクスポートしたファイルを移行先のパッケージソフトでインポートを可能とする。